

2019年9月吉日

会員のみなさま

大阪府臨床心理士会会長 加藤 敬
研修委員会委員長 桧谷 真美

2019年度 大阪府臨床心理士会 合同研修会のご案内

2019年度大阪府臨床心理士会合同研修会を下記のとおり開催いたします。今回は各部会より9企画の研修を1日研修の形で実施いたします。参加者のみなさまには、午前・午後それぞれご希望の研修をお選びいただきますようお願いいたします。

会員のみなさまには、ご多忙の時期とは存じますが、積極的なご参加をお待ち申し上げます。

記

1. 日時：2019年12月8日（日）10：00～16：30

2. 場所：大阪経済大学D館（8頁の会場案内地図参照）

※会場の空調は集中管理のため、各自、調整できるように服装等ご準備ください。

3. スケジュール：

9：30～10：00 受付

※今回の研修はすべて事前申し込みのため、当日参加の受付はいたしません。

10：00～12：30 午前の部

研修一覧（それぞれ第2希望まで選択してください）				
午前	A イキイキ	B 障害学生への支援	C 職場内研修	D 法務教官

※会場の都合により、定員を設ける場合があります。

12：30～14：00 昼食・休憩（大学の食堂が利用できます）

※書籍販売があります

14：00～16：30 午後の部

研修一覧（それぞれ第2希望まで選択してください）					
午後	E 法務教官	F 高齢者	G CRAFT	H メンタライジング	I 緊急支援活動

※会場の都合により、定員を設ける場合があります。

4. 研修内容：

◇ ◆ ◇ 午前の部 ◇ ◆ ◇

《A》 イキイキしてまっか×儲かりまっか ～これからの活躍できる心理職とは～

「頑張っているのに評価してもらえない」、「思っていた状況と違うけどこのままでいいのだろうか」そう感じたことはありませんか？「どうせ心理職では稼げない」そう思ったことや、「そもそも収入面は重視していない」と自分に言い聞かせたことはありませんか？

“今はできない”と“絶対にできない”を混同しないでください。

本研修では、心理職として周囲や組織から評価され、働きに見合った収入を得るためのエッセンスを、現場の第一線で実現されている先生方にお話しいただきます。心理職のキャリアにおけるステップアップについて、理論や体験談を参考に議論を深め、ワークを通じて自身の行動に結びつけていただきます。周りに差をつけて一歩先を行く心理職になりませんか。

企 画：医療保健部会・産業部会

講 師：花村 温子（埼玉メディカルセンター）

話題提供：桑田 直哉（東京都健康長寿医療センター）

話題提供：高原 龍二（大阪経済大学）

司 会：代田沙緒里（神戸百年記念病院）

《B》 障害のある学生への支援 ～その現状と課題について～

障害者差別解消法の施行に伴い、各大学では義務・努力義務として支援の必要な学生に対して合理的配慮の調整・支援を行っています。個々の学生のニーズに応じた修学環境を調整しているものの、ニーズは多様化しており、現場の担当者は日々苦心を重ねています。そこで今回、講師に京都大学障害学生支援ルーム・チーフコーディネーターの村田淳先生をお招きし、合理的配慮の基本的概念について整理しながら、支援内容や調整スキルについてご講演いただきます。発達障害・精神障害に関する支援事例をご提示いただき、さらに困難事例や不服申し立て等、医療・司法・福祉の見解や連携を要する合理的配慮の新たな課題についても触れていただく予定です。就労や地域生活につなげる生涯にわたる支援の視点を持ち、大学における支援機関の果たす役割と多分野の連携について考える機会にしたいと思います。

企 画：教育部会

講 師：村田 淳（京都大学学生総合支援センター）

司 会：兵頭 俊宏（大阪市立大学カウンセリングルーム）

《C》 どうしてる？福祉領域の職場内研修

職場内研修、皆さんはどのように行っていますか？

福祉分野に限らず、職場が変われば共に働く人たちの専門性が異なり、心理職に求められる役割も異なります。心理職の役割を考えたときに、心理査定や心理面接など直接支援が主になりますが、共に働く人々やチームの資質向上のための心理教育や職場内研修といった間接支援も我々に求められる大事な役割の一つです。

今回は、児童福祉分野である児童相談所、児童養護施設、児童心理治療施設、児童通所支援施設（児童発達支援・放課後デイサービス）について、初任者研修や多職種への研修など、それぞれの職域での研修を取り上げます。研修を行う上での知恵・工夫を整理し、後進の育成や多職種連携のヒントを探り、研修実施のみならずコンサルテーションにも役立つ知識の共有を目指します。

企 画：福祉部会

話題提供：貞木 隆志（大阪市南部こども相談センター）

話題提供：井上 博晶（公德学園）

話題提供：山路 明大（弘済のぞみ園）

話題提供：木村 司（View びらす通所支援事業所とことこ）

司 会：高塚 広大（サルビアジュニアタ日丘教室）

《D》 法務教官と考える（1） ～刑務所における臨床心理士の役割～

現在、臨床心理士は様々な分野において多岐にわたる業務に携わっています。矯正施設にあたる刑務所や少年院にも臨床心理士はいます。しかし、刑務所や少年院での業務や現状についてはあまり知られていないのではないのでしょうか？本研修では、大阪刑務所で法務教官として勤務されている出原進一先生を講師としてお招きし、刑務所や少年院の現状や法務教官として、実際にどのような臨床心理学的な支援や指導を行っているのか、さらに、受刑者や入所者の出所後の支援の在り方についてもご講義いただきます。

※午前のみ、午後のみ受講も可能です。

企 画：司法矯正部会

講 師：出原 進一（大阪刑務所）

司 会：笠谷 光（スキマサポートセンター）

《E》 法務教官と考える（2） ～犯罪防止のために臨床心理士ができること～

近年、若い世代の関与が問題となっている「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺をはじめ、性犯罪、薬物使用といった犯罪行為が後を絶ちません。中には違法行為と知らずに巻き込まれ犯罪者になった人も少なくありません。こうした犯罪行為に手を染めてしまう人には、どのような背景・要因があったのでしょうか。未然に防ぐ手立てはなかったのでしょうか。本研修は乳幼児期～青年期までの年代を対象とする現場で臨床に取り組まれている2名の先生から話題提供いただき、犯罪行為の背景要因を考えます。そして指定討論者として大阪刑務所の出原先生にご登壇いただき、非行や犯罪の未然防止に向け臨床心理士がどのように関わっていくことができるのか検討することを目的とします。

※午前のみ、午後のみ受講も可能です。

企 画：司法矯正部会
 指定討論：出原 進一（大阪刑務所）
 話題提供：犬山 和行（私学 SC）
 話題提供：萩原 彩（大東市役所）

《F》 福祉領域における心理臨床を考えるシリーズ（6） ～高齢者とその家族の支援～

これまで経験したことのない超高齢社会を迎えた今、地域のどのような現場でも高齢者とその家族に出会います。支援を拒否する高齢者、孤立している高齢者、障がいのある子どもを抱えた高齢者、障がい者の高齢化、子育てと介護のダブルケア、介護疲れ等々、地域では様々な問題が起きています。そこで、ヤーロムの「死の不安に向き合う」を翻訳（共訳）された宮川貴美子先生より高齢者の心の特徴、特に死が身近になってきた心を中心にお話しいただきます。そして、高齢者施設での心理職のご経験が長い桑田直哉先生から高齢者に関わる際に必要な具体的知識や支援方法についてお話ししていただきます。

地域で生活をしている高齢者と家族に対して心理職だからこそその支援とは何か、この現代喫緊の課題をフロアの先生方とともに考えたいと思います。

企 画：福祉部会
 講 師：宮川貴美子（帝塚山学院大学）
 講 師：桑田 直哉（東京都健康長寿医療センター）
 司 会：田中 優子（帝塚山学院大学）

《G》 「あの人が治療を受けてくれないんです（泣）」 ～CRAFTの産業領域への応用～

アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存、引きこもりといった問題においては、当事者が自発的に専門機関とつながりにくく、治療・支援の手がなかなか届きません。CRAFT（Community Reinforcement and Family Training：コミュニティ強化と家族訓練）は、家族にアプローチして環境を整えることにより、当事者が自ら選択して治療に入ることを支援する方法です。今回の研修では、CRAFTの実践方法を学び、産業領域で活用できる支援策を増やすことを目的とします。

企 画：産業部会
講 師：境 泉洋（宮崎大学）
司 会：榎本 正己（株式会社ジャパン EAP システムズ）

《H》 メンタライジングの理論と実際 ～私たちの臨床技法を微調整するために～

メンタライジングの概念は、P. フォナギーらが 1990 年代に境界性パーソナリティ障害の治療における鍵概念として使用し始めました。その後、フォナギーや A. ベイトマンは、愛着理論を基盤として認知科学や神経科学の知見をもメンタライジング理論に組み込み、現在では、メンタライジングはあらゆる心理療法に求められる大切な要素と考えられるようになりました。ただ、その理論や具体的な介入の実際は、我が国ではまだ充分共有されているとは言い難い状況にあります。今回、この領域において我が国における第一人者の一人である上地雄一郎先生（岡山大学）をお迎えし、メンタライジングの視点を心理療法に生かすために、基礎理論からそれを用いた支援の実際までをご解説いただきます。

企 画：医療保健部会
講 師：上地雄一郎（岡山大学）
司 会：川端 康雄（大阪医科大学附属病院）

《I》 支援学校での緊急支援について考える

～大阪府臨床心理士会での緊急支援活動の報告から～

昨年、大阪府下の支援学校正門前で、児童教職員が死傷する交通事故が起こりました。支援学校の SC は、府の SC 事業としての配置ではなく各校の裁量で活用されています。SC の活動時間が月に数時間という学校もあるのが現状です。

当会はこの事故の影響の大きさや支援学校の状況から大阪府教育庁支援学校課と協議し、支援を行いました。本分科会では、1 年以上にわたる当会の支援活動について、初めに支援を受けた立場から当該校 SC の中尾恵弥子先生から、次に当会との協働について大阪府教育庁支援教育課首席指導主事の上田敬三先生より、その後当会支援チームとしての活動を河井美砂先生よりご報告いただきます。最後に当会副会長の良原恵子先生より活動全体についてコメントをいただき、支援活動について振り返り、緊急支援の在り方についての理解を深めます。

企 画：被害者被災地等支援担当理事
話題提供：中尾恵弥子（大阪府聴覚支援学校 SC）
話題提供：上田 恵三（大阪府教育庁教育振興室支援学校課）
話題提供：河井 美砂（大阪府教育庁教育振興室高等学校課）
話題提供：良原 恵子（大阪府臨床心理士会）

5. 申込手続き

- ①申込締切：10月25日（金）振込み分まで
※締切厳守でお願いします。
研修当日の受付はいたしませんので、ご注意下さい。
- ②参加費：
大阪府臨床心理士会会員 3,000円
非会員（但し、臨床心理士有資格者に限る） 5,000円
- ③参加ご希望の方は、同封の郵便振替払込用紙に必要事項を記入し、参加費を入金してください。「払込金受領証」をもって領収書といたします。別途領収書が必要な方は、研修当日に事務局受付までお越しください。
- ④振込先：ゆうちょ銀行 00950-6-64668 大阪府臨床心理士会
- ⑤郵便振替払込用紙には、**臨床心理士番号・住所・氏名および希望する研修（午前・午後それぞれ第二希望まで）**をご記入ください。なお、定員を超える参加希望があった場合、他の研修にご参加していただくことがあります。
- ⑥希望研修が未記入の場合、当日ご希望の研修に参加できないこともありますので、あらかじめご了承ください。
- ⑦参加費入金後は、研修の変更をお断りさせていただきます。
- ⑧一度入金された参加費は返金できません。ご了承ください。
- ⑨参加申し込み締め切り 10月25日（金）までに手続きされた参加者には、11月下旬に「**参加証**」をはがきでお送りします。当日忘れずにご持参ください。
※尚、手続きに不備があった場合は「参加引換証」をお送りします。「参加引換証」が届いた方は、当日9：30～10：00までに事務局受付で参加証と引き換えてください。
- ⑩本研修は、資格更新のための研修ポイント（2点）を申請予定です。
研修会終了後、各研修会場にて、「参加証」と交換で、研修証明書をお配付します。
（遅刻・早退は30分を限度とします）。

6. 問い合わせ先

お問い合わせは、大阪府臨床心理士会事務局まで、メールまたはFAXでお願いします。2週間以内に返答がない場合は、本会事務局へ届いていない可能性があります。再度お問い合わせくださいますよう、お願い致します。

大阪府臨床心理士会事務局

Mail : osakacp@osccp.jp

Fax : 06-6942-5110

Home Page : <http://www.osccp.jp/>



7. 託児サービスのご案内

小さなお子様のいる方でも、当日安心してゆっくりご参加いただけるよう、託児サービスをご用意しております。

利用可能時間	9:30~16:45まで
対象	合同研修会の参加者（本会非会員もご利用できます）
お子様の年齢	1歳~6歳（未就学児に限ります）
定員	15名（先着順）
託児場所	大阪経済大学内（申し込まれた方に後日お伝えします）
利用料金	2,000円（本会非会員も同じ）
利用方法	予約制
託児形態	託児サービスは株式会社ポピンズに委託して実施します。
利用申込・ お問い合わせ	同封の案内チラシをご確認いただき、利用申込書に必要事項をご記入のうえ、株式会社ポピンズまでFAXにてお申し込みください。 株式会社ポピンズ大阪支社 チャイルドケアサービス部 担当：竹内・平尾 電話 06-6367-2100 FAX 06-6367-2105
その他	保育に配慮が必要な場合は、ご予約時にお申し出ください。 大阪府臨床心理士会および大阪経済大学は、本サービスおよび会場内外での事故等の責任を負いかねますので、ご了承ください。 詳細は同封の案内チラシを御覧ください。

8. 会場（大阪経済大学）へのアクセス

大阪経済大学 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

- 阪急京都線「上新庄」駅、徒歩約 15 分
- 地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅、徒歩約 2 分
- 市バス「大阪経大前」下車

